

- 1 … 埼玉サッカー100年記念パーティー開催
国体女子、2度目の優勝!
- 2 … 埼玉サッカー100年記念パーティー
さいたまシティカップ2008開催
- 3 … 外部指導者の活動報告 Vol.1
全日本女子ユースU-15・全日本ユースU-18
- 4 … チャレンジ! おおいた国体 報告
- 6 … 彩夏到来08埼玉総体
- 7 … 大会記録
- 14 … ストライカー・GK キャンプ報告 他
- 15 … 医事委員会より
- 16 … インフォメーション・編集後記

●発行/発行人: 会長・相川宗一 編集人: 高橋 明 ●発行所/(財)埼玉県サッカー協会 住所: 〒330-0074さいたま市浦和区北浦和 1-21-18 雁ヶ音ビル204号室
Tel 048-834-2002・Fax 048-834-2004 <http://www.saitamasfa.com/> (年間購読料 1500円)

埼玉サッカー 100年記念パーティー開催 ～これまでの100年に感謝。次の100年に向けて～

去る11月8日、ラフレさいたまにて、埼玉サッカー100年記念パーティーが開催された。上田清司・埼玉県知事を始めとするご来賓の方々を含めて、約250人の関係者に出席していただいた。制作した「埼玉サッカー100年史」などの映像紹介、長年に渡って埼玉サッカーに貢献された皆さんへのインタビューなど、あっという間の2時間となった。

このパーティーは通過点。次の100年に向かって、がんばっていきましょう。



国体女子、2度目の優勝! ～チャレンジ! おおいた国体～

9月末から開催された第63回国民体育大会「チャレンジ! おおいた国体」にて、女子チームが優勝に輝いた。女子の優勝は、04年の埼玉国体に続き、2度目。決勝は兵庫(TASAKI)を2対0で破った。

今回は全員が浦和レッズレディースの若手選手で構成されたが、選考においては高校、大学の選手も入るなど、少しずつ強化と育成が歩み寄った形となった。今後の女子の育成にも、大きな影響を及ぼす結果とも言えるだろう。

※ 4ページに続く



(写真提供: 上條 岳氏)

埼玉サッカー100年記念パーティー

11月8日(土) 17時～19時
ラフレさいたま 3F櫻ホール
来賓

埼玉県知事 上田清司
埼玉県議会議員 深井 明
埼玉県議会サッカー振興議員連盟会長 野本陽一
埼玉県議会サッカー振興議員連盟幹事長 長沼 威
埼玉県教育委員会教育長 島村和男
財団法人埼玉県体育協会会長 坂本祐之輔
社団法人神奈川県サッカー協会会長 宇野 勝
社団法人栃木県サッカー協会専務理事 室井和比古
(敬称略・順不同)

パーティーは相川宗一会長の挨拶に始まると、上田県知事、深井県議会議員に祝辞をいただいた後、サッカー振興議員連盟の野本会長に乾杯の音頭をとっていただいた。

誰もが懐かしい面々との歓談される中、「埼玉サッカー100年史」などの映像をご覧いただき、その合間に、この100年を振り返るにふさわしい皆さんにインタビューを行った。

ゲストとして来ていただいた齋田隆史氏(元朝日新聞)、浅見俊雄氏(JFA 顧問)、元日本代表である鈴木良三氏、さらには SFA 公認で外部指導者として活躍されている坂村岱氏、青木宏至氏にも一言いただいた。

終盤には、この日川崎フロンターレに勝利した大宮アルディージャ代表でもある渡邊誠吾理事から喜びの一言があり、最後は横山謙三副会長・専務理事の挨拶で締めくくった。

この模様は、DVD に収録されることになっている。



さいたまシティカップ2008 delivered by DHL 開催

7月31日、「さいたまシティカップ」が開催され、浦和レッズとFCバイエルン・ミュンヘン(ドイツ)が対戦した。この試合は、埼玉サッカー100周年記念事業の一つとして行われた。

浦和レッズ 2 (0-3) (2-1) 4 FCバイエルン・ミュンヘン
得点者: 15分ミロスラフ・クローゼ、20・42・62分ルーカス・ポドルスキ、
56分梅崎、80分阿部
入場者数: 27,292人

◇大会 MVP ルーカス ポドルスキ (FC バイエルン・ミュンヘン)



細木志朗先生の三女・川崎朗子さんと孫・細木正志さん

■外部指導者の活動報告 Vol.1 ～坂村 岱氏～

今号から3号に渡って、今年度から始めた「外部指導者派遣事業」に参画していただいている指導者の皆さんに話を聞く。まずは、元日本ユース代表であり、市立浦和OBの坂村岱氏に登場いただいた。日立製作所に入社され、日本リーグでも活躍し、引退後は長く育成年代の指導に従事されてきたスペシャリストである。現在は、シニアでもプレーされながら、越谷市立南中学校で指導していただいている。

「指導は基本的には月曜と金曜です。夏は2時間程度やっていましたが、冬場は1時間15分程度行っています。火、水、木は顧問の先生にお任せしています。トレーニングメモを渡していますから、そこで反復してもらっているところです。生徒は現在28名(1、2年生)。

印象としては、楽しく和気藹々としてやっているというところでしょうか。中学生としては、やや大人しい感じがしています。技術的には少年団でサッカーをしていたのが5人程度ですので、最初は止める、蹴るから始めました。あとパスを出したら少し動くとか。みんなパスを出したら、踵をつけたままなんですね。今まで、子供たちが主体でトレーニングしていたチームです。

6ヵ月経って思うのは、まずは挨拶ができるようになったこと。あとサッカーそのものへの興味を少しずつ持ってくれ始めているような気がしています。全体的とは言えませんが、プレーそのものも少しずつよくなってきているところですから、まずは公式戦で1勝を目指そうという段階です。もう少し手を使うなり、声

をかけるなりして、コミュニケーションを考えてほしいのですが。

ただ試合そのものには、以前から近くの少年団の指導者の方々が帯同していただいているというので、私自身は介入しておらず、お任せしているところです。

うれしいのは、女性ですが顧問の長谷川先生が先頭になって練習をしてくれたり、学校としても男性の真鍋先生が顧問になっていただいたり、考えていただいているようです。もともと月曜だけから、週2回に増えましたから、学校側にはこの制度に興味関心を持っていただいていますね。

コーンやラインマーカーなど備品が十分でなかったりという面はありますが、そこは工夫しながらやっていこうと思っています。見てみると、1年生の理解度が高く、ここからが楽しみです」

顧問・真鍋賢太郎さん

「9月から主顧問になったばかりです。トレーニング方法一つとっても、素人なのでまるでわかりませんが、坂村さんの指導で勉強させていただいています。子供1人ひとりを見てくださり、その熱意は素晴らしいものです。子供たちを見ていても、坂村さんが来られると「今日はどんなトレーニングをするんだろう」と真剣さを増しています」

副顧問・長谷川愛さん

「もともと越谷市の外部指導者制度を使って、週末は別の方をお願いしていますが『平日の技術指導に』とお願いしたところ、週2回も来ていただき、ありがたいと思っています。学校では生活面の指導も含めて「部活」ということを理解していただき、挨拶や整理整頓などにも気遣ってもらっています。実際にプレーを見せてくれたり、遊びの要素が多いトレーニングが多く、子供たちは楽しそうですね」

第13回全日本女子ユース(U-15)選手権大会で、浦和レッズジュニアユースレディースが初優勝

8月18日から開催されていた「第13回全日本女子ユース(U-15)選手権大会」において、浦和レッズジュニアユースレディースが初優勝を遂げた。2007年に本格的に育成カテゴリーの傘下に入ってわずか2年の快挙である。

全日本女子ユース(U-15)サッカー選手権大会

8月12日～15日 Jヴィレッジ

●グループB

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	AGUA・FCレディース(兵庫・関西1)	2	0	1	6	+6
2	大宮FCエンジェルス(埼玉・関東3)	2	0	1	6	+4
3	鳴門ボラリスレディースFC(徳島・四国)	2	0	1	6	±0
4	アルビレックス新潟レディースU-18(新潟・北信越)	0	0	3	0	-10

●グループC

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	浦和レッズJYレディース(埼玉・関東1)	3	0	0	9	+11
2	FCヴィトーリア(大阪・関西2)	2	0	1	6	±0
3	大分トリニータレディース(大分・九州2)	0	1	2	1	-3
4	盛岡ゼブラレディースFC(岩手・東北2)	0	1	2	1	-8

●決勝トーナメント

準決勝 浦和レッズJYレディース 4-1 大和シルフィード98

決勝 浦和レッズJYレディース 1-0 神村学園中部

※浦和レッズJYレディースは初優勝



©JUN SEIO

高円宮杯第19回全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会で、浦和レッズユースが初優勝

9月7日から開催されていた高円宮杯第19回全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会で、浦和レッズユースが決勝で9対1という大差をつけて初優勝を遂げた。埼玉勢が埼玉スタジアムでの決勝に立ったのも初めてだったが、優勝するのも初めて。

高円宮杯第19回全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会

9月7日～10月13日 埼玉スタジアム他

●1次ラウンド グループA

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	浦和レッズユース	2	1	0	7	+3
2	名古屋グランパスU18	1	1	1	4	-1
3	横浜Fマリノスユース	1	0	2	3	±0
4	青森山田高校	0	2	1	2	-2

●決勝トーナメント

柏レイソルU-18	1	アルビレックス新潟ユース	1
東京ヴェルディユース	3	横浜F・マリノスユース	3
野洲高校	1	ジュビロ磐田ユース	1
岡山県作陽高校	1	名古屋グランパスU-18	3
岡山県作陽高校	2	FC東京U-18	2
鹿児島城西高校	4	流通経済大学付属柏高校	3
ガンバ大阪ユース	3	浦和レッズユース	5
浦和レッズユース	5	コンサドーレ札幌ユースU-18	1
セレッソ大阪U-18	1	前橋育英高校	2

※浦和レッズユースは初優勝



©JUN SEIO

チャレンジ! おおいた国体報告

9月27日より、大分で第63回国民体育大会が開催された。埼玉から出場したのは女子と少年男子。結果、女子が優勝し、天皇杯で4位となった。以下、レポートである。

女子報告 強化対策特命委員長・野崎正治

1回戦 埼玉 2 (0-0)(2-1) 1 愛知

得点者: 若林、窪田

対戦相手、愛知に打たれたシュートは前半1本、後半1本の計2本。埼玉は計18本。埼玉の決定機のシュートはGK正面4本、ゴールポスト直撃2本、クロスバー1本など最低5~6点は決めなければいけない。雨の影響で多少スリッピーであったが、人工芝のためほとんど影響がなかった。

後で聞いた話だが、ハーフタイムで村松監督が雷を落としたそうだ。愛知は格下であるため選手のどこかに試合前、慢心はなかったか? サッカーでありがちな、決めるところで決めないとジャイアントキリングが起こる典型的試合であったが、ほんとうによく逆転してくれた。

一番の勝因は、最後まで足が止まらなかったことである。

準々決勝 埼玉 4 (0-0)(4-1) 0 福岡

得点者: 若林、窪田2、庭田

昨日の1回戦とは見違えるようなチームになり、運動量、気迫、相手に何もさせないという精神的な充実がプレーの随所に見られた。特に相手との中間点にあるボールに対する執念は、体を張ったスライディングが物語っていた。

1つ気になる点は、イエローカードを2枚もらってしまったことくらいである。次の準決勝でイエローカードを受けると、決勝のことが気になった。

村松監督のミーティングの内容は知らないが、相当厳しく選手達に檄を飛ばしたことと思われる。

準決勝 埼玉 3 (2-0)(1-0) 0 三重

得点者: 若林、窪田

シュート数、埼玉7本に対し三重6本と接戦のようだが、埼玉の完勝といえる内容であった。若林のスピードと決定力は素晴らしい。強いていえば、前半にもう1点取ることと、3-0からのイエローカードはいただけない。

試合後、村松監督は「ここまで来たから、いいでしょう」とのことばの裏に、秘めた闘志を感じた。

決勝 埼玉 2 (1-0)(1-0) 0 兵庫

得点者: 窪田、庭田

優勝していただいたので何も言うことはない。強いて言うと、GKのプレスキックが不安定で飛距離も出ずピンチを招く場面が何度かあり、個人的に改善して欲しい。

【総括】

レッズレディース若手(控えメンバー)中心で編成され、国体を若手の強化・育成と経験の場と捉えている。1回戦こそ薄氷を踏む勝利であったが、勝ち進むに従い安定した試合運びを裏付ける豊富な運動量と、体を張った厳しいプレッシャーは見事であった。

特に決勝戦の相手兵庫は、昨年準決勝で逆転負けを喫し国体3連覇を狙う格上のチームであった。選手達は臆することなく堂々と闘い、見事栄冠を勝ち取ってくれた。本大会の直前、エース北本が捻挫で帯同できず、控えメンバーが3人であった。また、民泊の環境ということで、女子は不安だったと思う。終わってみれば、決勝戦を含む4試合で、得点11、失点1。2トップを組む若林が4得点、窪田が5得点で大活躍した。また、民泊している地区の大声援を毎試合受け、選手達は勇気付けられた

と思う。

何より、選手達を叱咤激励し、素晴らしいチームに仕上げた村松監督の手腕に敬意を払うと共にチームスタッフ全員の見事な連携を絶賛したい。

少年男子報告 U-16ダイレクター・大森健司

2回戦 埼玉 6 (1-0)(5-0) 0 山口

得点者: 磯部、飯野、桑田、佐藤、高木、矢島

台風の影響により風雨が強い中で行われた試合であったが、ピッチコンディションは良く、埼玉県選手の技術が発揮できる状況であった。序盤からボールを支配し中盤でタメを作っては、また、ボールを奪ってはシンプルにゴールを目指す攻撃で、終始優勢に進めることができた。時折見せる山口県のカウンター攻撃にも最終ラインで冷静に対応し危なげなく守った。試合全体を通して、埼玉の良さが随所に現れた素晴らしい試合となった。

攻撃面では、両ボランチを起点にサイドとトップを絡めた多彩な突破で、幾度となく相手ペナルティエリア付近まで入り込みチャンスを作った。個々の選手が流れの中での的確な攻撃参加をしたことにより、6点全てが異なる選手の得点というおまけもついた。スリッピーなピッチの中で、個人でもグループでもボールを失わないスキルがあることが埼玉の攻撃を成り立たせた大きな理由であった。また、1対1でオン・オフに係わらずほとんどの場面で勝ったことは言うまでもなく、「個」の差が如実に表れた試合であった。

守備面では、中盤での速いプレスでボールを奪取することができ、相手に攻撃を作らせなかった。相手のロングフォワードパスからの速攻にも、最終ラインでの安定した1体1の対応で危ない場面はほとんど見られなかった。相手にとって唯一のチャンスであるセットプレーにも、的確なポジショニングと高さでボールを先に触らせることはなかった。

3回戦 埼玉 0 (0-0)(0-1) 1 大阪

前日同様、台風の影響があり肌寒い雨の中での試合となった。2回戦とは違い、メイン会場でありながらひどいピッチコンディションで、ボールが転がらない場所が随所に見られた。前日、終了間際に2得点し逆転勝利を収めた大阪府に対し万全の状態で臨んだ埼玉県であったが、後半失点し敗退した。

ポイントの一つとしては、相手背後に走り込み、そこへシンプルにボールを入れることを徹底する大阪に対して、埼玉はピッチコンディションが悪いのにもかかわらず、足下へのパスワークが多かったことだ。また相手ディフェンス背後へのパスが短く、はね返されてしまった。得意とするサイドの崩しは何度かあり、シュートへ持って行く場面も見られたが、得点には至らなかった。

もう一つはシュートのタイミング。「ゴールが見えたら打て」ではないが、相手と競り合いながらも、またシュートコースが少しでもあれば「打つ」ということができなかった。クロスに対して1タッチでのシュートは無理な体勢でもできるのだが、ドリブル・トラップで持ち出せるスペースがあると、1タッチ・2タッチ余計なタッチが入り、打つ機会を失ってしまっていた。

以上2点がこの試合の明暗を分けたポイントであると思う。

【総括】強化対策特命委員長・野崎正治

昨年より始動し始め、小茂田トレセンチーフ(監督)の下、入念なスケジュールを立てチーム作りを行ってきた。春先からの関東トレセンリーグ(国体予選を兼ねる)を安定した戦いで全勝した。国体関東予選では神奈川に先制点を許すも延長で6-

2と撃破し本大会への出場権を獲得するとともに、上位進出への期待を感じさせた。本大会は、1回戦シードで比較的恵まれた抽選組み合わせであり、ますます期待が高まった。

女子との試合開始時間が同時で、私自身、初戦の後半の途中からのみの観戦であった。U-16ダイレクターである大森氏のレポートから、天候、ピッチコンディションを考えたゲームプラン、個人・チーム戦術の徹底がなされていたか疑問である。

国体期間中は、必ず1日や2日間は悪天候があり、ピッチコンディションも様々である。いかなる状況下でも対できるチーム・個人にすることが必要。アクシデント時の対応の際のベンチワークの問題等、検証していただきたい。

本大会の優勝は奇しくも神奈川であり、埼玉は優勝する力を十分持っていただけに非常に残念な結果といえる。

少年男子総評 2種技術委員長・福田直史

国体少年の部がU-16大会になって今年で3年目となる。関東予選は神奈川を延長の末破り3年連続出場を果たす。兵庫国体では静岡を圧倒したが延長で敗れ、秋田国体では京都のストライカーに3点取られ逆転負け、今年は2回戦6点の猛攻で山口に圧勝し、強豪大阪と対戦した。台風の影響のある雨の中、ほぼ互角の戦いであったが、後半フィジカルの強さとセカンドボールの支配で負けてしまい1点を取られ敗れる。決定機もあったが精度に欠けたり、シュートチャンスを生かせず1点が取れなかった。今年はすば抜けた選手はいなかったがチームとしてはよくまとまり、粘りのあるチームに育っていたので非常に残念であった。敗因としては、4. 5. 7月の関東トレセンリーグでも順調に勝ち点を伸ばし、全勝で関東予選に臨み、関東予選でも苦しんだが延長で大勝していたので、負けがなく本大会に入ったため油断があったかもしれないことと、台風による大雨でのグラウンドコンディションにあったゲーム展開ができなかったことがあげられる。私個人の見た限りではあるが後半のメンバーチェンジ・攻め方・GK交代で劣勢に立ったように思えた。神奈川は埼玉との関東予選でリードしながら選手交代により（怪我のため）リズムを崩して敗れた経験を生かし、見事本大会では埼玉を破った大阪を下して優勝をする。これで3年連続関東のチーム（千葉・東京・神奈川）が優勝したこととなる。関東出場4チームは常に優勝候補になることは間違いなく、研究もされるため、より細部まで、シミュレーションすることが必要になる。来年度スタッフも帯同していたので来年度への教訓としてもらいたい。

埼玉の選手は総合評価では皆80点だが、プロになり成功するためには何か90点以上のものを身につけなくてはいけないだろう。4種・3種ではもっと個性ある選手を発掘し、その個性を伸ばして欲しい。2種以上では個性だけでは無理で、速さ・強さ・高さのいずれかを伸ばし、視野の広さとキックの精度を高め、指導者から素直にいろいろなことを吸収できることが必要であり、そして明るい性格であること。ゴールを狙った素早いサッカーを心掛けてほしい。

今後もレッズ・アルディージャユース中心の選手にはなるだろうが、Jリーグで活躍する選手は高体連出身の選手よりまだまだ少なく、指導者も選手も、もっと努力が必要である。国体選手が必ず成功するとは限らず、指導者は自信を持ち接し、選手は謙虚な態度が必要である。ルール（ファール）を理解していない選手も多いと感じた。今後の選手の飛躍に期待し、総評とする。

成年男子報告 強化対策特命委員長・野崎正治

スタッフ・選手共にほとんど社会人で仕事があり、選抜チームのため、選考から合同練習に至るまで大変な苦労があったものと思われる。

今年度当初より、大学チームとの連携を勧め、協力を得て、何とか関東ブロックの突破を狙ったが、関東予選1回戦で茨城にPK負けし本大会出場を逃した。

試合内容は、決して悪くはなかったと思う。大学チームとの連携を構築し、来年は本大会出場を最低限の目標に奮起を期待したい。

関東ブロック大会 於：山梨

成年男子

埼玉 0 - 0 茨城
(2PK 4)

※ 関東代表は千葉と神奈川



女子

埼玉 6 - 0 山梨
埼玉 6 - 1 神奈川

※ 関東代表は埼玉と東京



少年男子

埼玉 6 - 2 神奈川
(延長)

※ 関東代表は埼玉、群馬、神奈川、東京



彩夏到来08埼玉総体

平成20年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技

7月29日～8月4日 埼玉スタジアム2002他

1 回戦	正智深谷 2 - 1 久御山 (京都)
	浦和東 1 - 1 各務原 (岐阜)
	6 PK 7
2 回戦	正智深谷 0 - 1 東海大翔洋 (静岡)
	埼玉栄 6 - 0 東邦 (愛知1)
3 回戦	埼玉栄 0 - 1 作陽 (岡山)

福田直史・2種技術委員長と高校総体を振り返る

— 各校の印象は。

「作陽との試合を観たが、栄は力的にはあると思った。前半は支配されていたものの、相手が10人になった後半は何度もチャンスを作った。先制できれば勝てたと思う。思うに、相手が10人になってから、ベンチワークに工夫が無かった。相手が守りに入ってカウンター狙いになっていたところのリスクマネジメントが無かったのではないかと。したたかさが欲しかった。追いついたと思ったシュートがオフサイドになったのは残念だった。

正智深谷は久御山との試合を観た。県予選で見せていたアグレッシブさがなく、丁寧になりすぎたように思えた。逆転勝ちを収めたが、初めての全国大会出場ということもあり、経験不足を感じた。プリンスリーグにも出場していたのだから、もっと自信を持って挑んでほしかった」

— 地元開催で3校出場。だが、ベスト16が最高というのは寂しい結果だった。

「誰もが寂しいと思っているだろう。確かにレッズユース、アルディージャユースに県内のトップレベルの選手が進んでいるが、それ以外にも選手はいる。だが、その選手たちが分散しているのが現状。ベスト8クラスでは、どこが優勝するかわからないだけに、抜け出ているところがない。選手が分散しないような仕組みがほしいところだ。

ただ、埼玉という枠で見れば、レッズユースが高円宮で優勝してくれた。だから、育成は悪くない方向にあると思っている」

※ 次号で、総体と選手権の総括を紹介する。



1 回戦 正智深谷-久御山



1 回戦 浦和東-各務原



2 回戦 埼玉栄-東邦



2 回戦 正智深谷-東海大学翔洋



3 回戦 埼玉栄-作陽

3種

2008年第1回埼玉県ユース(U-15)サッカーリーグ

●11月3日現在

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	三郷ジュニアユースFC	5	1	0	16	+12
2	FC CORUJA	4	1	0	13	+8
3	クマガヤSC	3	1	2	10	+2
4	HANフットボールクラブ	2	0	2	6	+2
5	埼玉栄中学校	2	0	4	6	+1
6	狭山ジュニアユースFC	1	2	2	5	-3
7	フェスタFC	1	1	3	4	-11
8	所沢ジュニアユースSC	0	0	5	0	-11

2008年第2回埼玉県ユース(U-14)サッカーリーグトップリーグ

●9月6日現在

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	武南ジュニアユースFC	4	1	0	13	+17
2	クマガヤSC	4	0	1	12	+14
3	狭山ジュニアユースFC	3	1	1	10	+2
4	フットボールクラブ深谷	3	1	1	10	+1
5	GRANDE FC	3	0	2	9	+3
6	さいたま田島中学校	1	0	4	3	-11
7	フォルチFC	0	1	4	1	-7
8	本庄南中学校	0	0	5	0	-19

平成20年度学校総合体育大会中学校サッカーの部

7月13日～25日 東松山陸上競技場他

さいたま田島	1	2	さいたま本太	2
深谷上柴	2	1	埼玉栄	3
東松山東	1	2	春日部東	2
さいたま岸	2	4	飯能美杉台	1
鴻巣赤見台	4	2	さいたま大原	2
所沢柳瀬	1	2	さいたま南浦和	6
さいたま木崎	2	3	行田西	0
川口戸塚	0	1	幸手西	2

※優勝した埼玉栄中と準優勝した鴻巣市立赤見台中は、関東中学校大会に出場する



決勝 埼玉栄中－赤見台中

平成20年度新人体育大会 兼 第21回県民総合体育大会 兼 第18回テレビ埼玉旗争奪サッカー大会

11月7日～16日 埼玉スタジアム2002他

さいたま白幡	3	2	さいたま南浦和	6
宮代百間	2	2	久喜東	0
伊奈	2	3	新座	0
吉川東	1	1	埼玉栄	3
さいたま常盤	2	7	吉見	5
熊谷富士見	1	1	越谷新栄	2
深谷豊里	5	0	蕨第二	1
戸田新曽	3	3	杉戸	3

※さいたま常盤中が28年ぶりの優勝を果たした。



新人体育大会決勝 さいたま常盤中－埼玉栄中

女子

埼玉県女子リーグ

●11月24日現在

順位	チーム名	勝点	試合数	勝	分	負	得失差
1	尚美学園大学	27	9	9	0	0	+65
2	エルフェン・マリ	27	12	8	3	1	+29
3	SEフィリアFC	25	13	8	1	4	+9
4	大宮エンジェルス	22	14	7	1	6	-5
5	FC.JAM-G	21	13	7	0	6	±0
6	上福岡女子SC	17	12	5	2	5	+9
7	埼玉大学女子	4	12	1	1	10	-44
8	妻沼毎日FC	0	12	0	0	12	-63

第30回埼玉県女子サッカー選手権大会 兼

第19回関東・全国レディースサッカー大会予選

6月8日～7月13日 埼玉スタジアム第2他

●代表決定戦

埼玉平成高校(高校1位)	3	1	尚美学園大学
大東文化大学(一般2位)	1	5	
尚美学園大学(一般1位)	5	2	
本庄第一高校(高校2位)	2		

※優勝した尚美学園大学は関東大会に出場する

第30回埼玉県女子サッカー選手権大会(レディースの部) 兼 第19回関東・全国レディースサッカー大会予選

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	FC.BB	4	0	0	12	+11
2	FC.K-Powers	2	1	1	7	+1
3	大宮別所レディース	1	1	2	4	-3
4	FC浦和コスモス	0	2	2	2	-4
5	北坂戸レディース	0	2	2	2	-5

※優勝したFC.BBとFC.K-Powersの2チームは関東地区予選大会に出場する。

第28回埼玉県女子サッカー大会

9月15日～23日 熊谷スポーツ文化公園

●一般の部

大宮エンジェルス	2	1	戸木南ボンパーズFC
上福岡女子SC	1	3	
FC JAM-G	2	1	
戸木南ボンパーズFC	10	3	
三郷フェアリーズ	0	1	
白岡SCL	0	0	
SEフィリアFC	7		

※戸木南ボンパーズFCが初優勝



戸木南ボンパーズ－大宮エンジェルス

●レディースの部

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	北坂戸レディース	2	0	0	6	+5
2	FC.K-Powers	1	0	1	3	-1
3	大宮別所レディース	0	0	2	0	-4

※北坂戸レディースが優勝

2008年第4回埼玉県女子ユース(U-18)サッカー選手権大会

6月7日～8月31日 武蔵丘短期大学他

浦和レッズJr	16	1	5 PK 3	3
FC JAM-G	0	1	3	4
本庄第一高校	17	1	4	3
白岡SCL	0	1	1	1
埼玉栄高校	3	1	1	1
大宮FCエンジェルス	0	1	1	1
埼玉平成高校	1	5	1	1
エルフェン狭山マリ	2	2	1	1

※優勝した浦和レッズジュニアユースレディースを含む上位3チームは関東大会に出場

平成20年度埼玉県高等学校女子サッカー選手権大会

10月25日～11月2日 武蔵丘短期大学他

埼玉平成	9	2	4	11	埼玉栄
北本	0	0	0	0	花咲徳栄
入間向陽	2	0	1	1	和光国際
市立浦和	0	1	2	6	浦和西
川口総合	2	1	0	0	熊谷女子
杉戸農業	0	3	2	1	浦和一女
久喜	7	1	11	1	本庄第一

3位決定戦 久喜 2-1 埼玉栄
 5位決定戦 浦和西 1-0 川口総合
 7位決定戦 浦和一女 1-1 入間向陽
 3 PK 2

※優勝した本庄第一他上位4校は、11月の第4回関東高等学校女子サッカー大会サッカー大会に出場する。



決勝 本庄第一ー埼玉平成

埼玉県U-15女子リーグ

●11月22日現在

順位	チーム名	勝	分	負	勝点
1	大宮FC U-15	18	1	0	55
2	浦和レッズJr	18	0	1	54
3	大宮FC U-14	14	2	3	44
4	河内ジュベニール	13	2	2	41
5	戸木南ボンパース	12	1	5	37
6	FC JAM-G	11	3	5	36
7	大宮FC U-13	9	4	6	31
8	吉見エスカーラ	8	3	6	27
9	AC館林フェリス	8	2	9	26
10	川口スピリッツ	8	1	8	25

順位	チーム名	勝	分	負	勝点
11	浦和ラッキーズ	7	3	7	24
12	WS.JW昭和	6	1	6	19
13	FC熊谷女子	5	3	9	18
14	越谷レディースF	4	4	8	16
15	白岡SCL	3	4	10	13
16	SEフィリアFC	2	1	11	7
17	川越レディース	2	0	13	6
18	SOCCER KOZOH	1	2	9	5
19	三郷フェアリーズ	0	1	16	1
20	上里深谷秩父	0	0	14	0

第6回JFA関東ガールズ・エイト(U-12)サッカー大会

●埼玉県代表決定トーナメント

7月19日・20日 上里町宮多目的広場サッカー場

深谷女子サッカー (北部第1代表)	1	2	3	4	荻荻キッカーズ (東部第1代表)
SC和光ベレーザ (南部第4代表)	4	0	3	0	熊谷リリーズ (北部第4代表)
吉見Lキッカーズ (東部第3代表)	1	1	1	1	TSガールズ (西部第3代表)
狭山アゼリアFC (西部第2代表)	3	2	0	0	東大宮エンジェルス (南部第2代表)
SEフィリアFC (東部第2代表)	1	0	1	0	FCなめがわ (北部第2代表)
吉見エスカーラ (北部第3代表)	5	0	1	2	浦和ラッキーズFC (南部第3代表)
FC毛呂山レディース (西部第4代表)	1	6	4	0	上里女子S.C. (北部第5代表)
戸木南ボンパースFC (南部第1代表)	4	10	1	8	川越女子Jr.レディースSC (西部第1代表)

※上位4チームが関東大会に出場

第20回埼玉県少女サッカー大会兼第21回関東少女サッカー大会

10月18日・19日 毛呂山町総合公園グラウンド

川越女子Jr.S.C. (西部第1代表)	12	6	3	1	白岡荻荻キッカーズ (東部第1代表)
深谷女子サッカー (北部第4代表)	0	1	1	1	狭山台キッカーズ (西部第4代表)
FCなめがわ (北部第3代表)	0	0	2	1	浦和ラッキーズFC (南部第3代表)
吉見Lキッカーズ (東部第2代表)	1	0	0	0	狭山アゼリアFC (西部第2代表)
S.C.和光ベレーザ (南部第2代表)	2	1	3	0	熊谷リリーズ (北部第2代表)
TSガールズ (西部第3代表)	0	4 PK 3	0	0	三郷立花フルーラ (東部第3代表)
東大宮エンジェルス (南部第4代表)	0	3	1	0	上里女子S.C. (北部第5代表)
吉見エスカーラ (北部第1代表)	2	0	9	6	戸木南ボンパースFC (南部第1代表)

※上位2チームは関東大会に出場する

シニア

南部リーグ

●11月2日現在

順位	チーム名	勝	分	負	勝点
1	所沢	12	0	1	36
2	新明	12	0	1	36
3	NTT	9	1	3	28
4	浦和	8	2	3	26
5	東春	7	3	4	24
6	パルス	7	1	5	20
7	川口	6	2	5	20
8	蕨	6	1	6	19
9	川越	5	0	8	15
10	与野	4	2	7	14
11	越谷	4	2	7	14
12	鴻巣	4	1	8	13
13	大宮	3	1	9	10
14	八潮	1	2	10	5
15	戸田	1	0	12	3

北部リーグ

●11月9日現在

順位	チーム名	勝	分	負	勝点
1	東松山OP	10	2	0	32
2	本庄	8	3	1	27
3	東松山P	8	2	2	26
4	児玉	7	4	1	25
5	秩父	6	3	3	21
6	鳩山	5	5	2	20
7	めめま	5	3	4	18
8	吉見	4	3	5	15
9	行田	4	2	6	14
10	小川	3	4	5	13
11	深谷	2	2	8	8
12	熊谷	0	5	7	5
13	寄居	0	4	8	4
14	セントラル	0	2	10	2

県50リーグ

●11月9日現在

順位	チーム名	勝	分	負	勝点
1	NTT	11	3	0	36
2	本庄	11	2	1	35
3	与野	9	4	2	31
4	パルス	8	6	1	30
5	東松山	8	4	3	28
6	大宮	7	4	4	25
7	東春	6	3	6	21
8	熊谷	5	5	5	20

順位	チーム名	勝	分	負	勝点
9	深谷	4	6	5	18
10	川越	4	6	5	18
11	鴻巣	3	6	6	15
12	蕨	3	4	7	13
13	川口	2	6	7	12
14	セントラル	2	2	11	8
15	所沢	1	3	10	6
16	戸田	1	2	12	5

県60リーグ

●11月9日現在

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	F F C	7	2	1	23	+14
2	パルス	5	3	2	18	+4
3	ポラリス	2	2	6	8	-6
4	Gファイター	1	3	6	6	-12

2008年埼玉県総合体育大会(シニアの部) 兼 日本スポーツマスターズ(O-40)サッカー競技埼玉県予選

9月7日～10月19日 東松山市岩鼻サッカー場他

NTTシニア	3	0	戸田シニアSC	0
東松山ペレーニアFC	0	0	FC浦和シニア	5
東松山オールドパワーズ	2	2	川越シニアSC	2
蕨シニアSC	2	2	所沢バッカーズ	1
与野シニアFC	1	1	大宮シニアFC	1
行田グレイティット	0	3	新明SC	4
児玉四十雀SC	0	1	本庄アイベックス	1
八潮シニア	3	1	吉見エスカーラFC	0



決勝 東松山オールドパワーズー FC 浦和シニア

フットサル

埼玉県フットサル1部リーグ

●10月4日現在

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	Pure City IMPERIO	5	0	1	15	+14
2	1FC川越水上公園	4	0	1	12	-2
3	烏天狗	3	1	1	10	+15
4	ロクFC	3	0	2	9	+10
5	坂戸龍門	3	0	3	9	-2
6	F & F	3	0	2	9	-5
7	マカプ〜	1	1	4	4	-11
8	ra'pido	1	0	4	3	-4
9	Mid field	0	0	5	0	-15

女子フットサルリーグ

●1st Stage 結果

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	dolce da donna	6	2	0	20	+32
2	CHU-BAR	6	1	1	19	+24
3	I.F.C./hermes	4	3	1	15	+7
4	CFP-LASLEONAS	4	0	4	12	+19
5	Grama	4	0	4	12	+5
6	城北ランシールズ	3	0	5	9	±0
7	FILHO Ladies	1	2	5	5	-14
8	Orange Cab	1	2	5	5	-33
9	Great Vance	1	0	6	3	-41

●11月16日現在

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	CHU-BAR	4	1	0	13	+20
2	dolce da donna	4	0	1	12	+33
3	I.F.C./hermes	4	0	1	12	+11
4	CFP-LASLEONAS	3	1	0	10	+10
5	FILHO Ladies	1	0	3	3	-7
6	Grama	1	0	3	3	-9
7	城北ランシールズ	1	0	4	3	-9
8	Orange Cab!	1	0	3	3	-15
9	Great Vance	0	0	4	0	-34

第5回全日本女子フットサル選手権大会埼玉県大会

8月9日・16日 くまがやドーム他

●予選リーグ

Aグループ	3d	Grama	meninas	Orange Cab!	勝点	得失点差	順位
3d	*	○10-0	○3-2	○8-2	9	+17	1
ロクFCGrama	●0-10	*	△1-1	○10-0	4	±0	2
meninas	●2-3	△1-1	*	○2-1	4	±0	3
Orange Cab!	●2-8	●0-10	●1-2	*	0	-17	4

Bグループ	武蔵浦和	C-B	I.F.C.	勝点	得失点差	順位
武蔵浦和FC	*	△2-2	○6-0	7	+9	1
CHU-BAR	△2-2	*	○6-1	7	+8	2
I.F.C./hermes	●0-6	●1-6	*	3	-8	3

●決勝トーナメント

dolce da donna (Aグループ1位)	2	
CHU-BAR (Bグループ2位)	2	3
武蔵浦和FC (Bグループ1位)	6	2
ロクFC・Grama (Aグループ2位)	1	

※優勝した dolce da donna は関東大会に出場する

第14回全日本ユース(U-15)フットサル大会埼玉県大会

10月11日 ウイングハット春日部

与野B	2	
A.Cアスミbranco	8	5
ロクB	5	1
フォルチA	0	6
与野A	1	2
ノルテA	2	1
A.Cアスミross	3	5
鴻巣A	1	6

※優勝は A.C アスミ ross

バーモントカップ第18回全日本少年フットサル大会埼玉県大会

11月8日 所沢市立市民体育館サブアリーナ

FCクラッキ	4	
セーニョ	1	14
江南南	4	14
ベルナル	5	1
川越ブロス	6	3
新座エースフットボールクラブ	4	3
レッツドラゴン	3	0
新座片山FC少年団	8	8
1FC川越水上公園	5	4
Asaka	9	4

※優勝した江南南サッカー少年団は全国大会に出場する

大会記録●県外大会

1 種

関東サッカーリーグ

● 1 部 最終結果

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	F C町田ゼルビア	12	2	0	38	+47
2	日立栃木ウーヴァSC	8	2	4	26	+5
3	NPO横浜スポーツ&カルチャークラブ	6	5	3	23	－1
4	クラブドラゴンズ	5	3	6	18	+6
5	さいたまサッカークラブ	4	4	6	16	－2
6	ホンダルミノッソ狭山FC	5	0	9	15	－13
7	海上自衛隊厚木基地マーカー	2	5	7	11	－15
8	東邦チタニウムサッカー	2	3	9	9	－27

● 2部 最終結果

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	飯能ブルーダーFC	10	3	1	33	+8
2	FC KOREA	10	0	4	30	+16
3	ヴェルフェたかはら那須	8	1	5	23	+12
4	エリースフットボールクラブ東京	7	2	5	23	±0
5	神奈川県教員サッカークラブ	4	2	8	14	-6
6	S.A.I市原サッカークラブ	4	1	9	13	-7
7	与野蹴魂会	4	1	9	13	-23
8	T.F.S.C.	3	2	9	11	±0

※ 優勝した飯能ブルーダーは1部に昇格
表彰：フェアプレー賞 飯能ブルーダー
ベストイレブン 鶴田 純、河野大樹（ともに飯能ブルーダー・DF）

第38回全国自治体職員サッカー選手権大会

7月25日～30日 島根県出雲市

1 回戦 さいたま市役所 3 - 0 愛媛県庁
2 回戦 さいたま市役所 1 - 2 桐生市役所

※ 優勝は藤枝市役所

第36回関東自治体職員サッカー選手権大会

10月25日～28日 藤岡市庚申山総合公園多目的広場他

2 回戦	さいたま市	8 - 0	前橋市役所
準決勝	さいたま市	3 - 1	東京都庁
決勝	東京消防庁	1 - 0	さいたま市

※ 優勝は東京消防庁

JR 東日本カップ2008 第82回関東大学サッカーリーグ戦 2 部

●11月22日現在

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
1	慶応義塾	53	17	2	3	+27
2	東 海	49	15	4	3	+32
3	青山学院	45	13	6	3	+27
4	拓 殖	42	13	3	6	+12
5	朝 鮮	33	9	6	7	±0
6	東 洋	32	9	5	8	-4

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
7	桐蔭横浜	25	6	7	9	-3
8	日本体育	25	7	4	11	-14
9	東京農業	21	6	3	13	-17
10	尚美学園	19	5	4	13	-12
11	国際武道	14	3	5	14	-25
12	亜細亜	11	2	5	15	-23

平成20年度第41回関東大学サッカー大会予選

11月1日～17日 平成国際大学他

●Aブロック

平成国際大学	0 - 1	上武大学
平成国際大学	0 - 1	成蹊大学
平成国際大学	2 - 2	立正大学

※ 平成国際大学は1分2敗となり、決勝トーナメントに進出できず

2 種

adidas CUP 第32回全日本クラブユースサッカー選手権
(U-18)大会

7月26日～8月3日 ニッパツ球技場他

●グループE

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	三菱養和サッカークラブユース	2	1	0	7	+2
2	浦和レッドダイヤモンズユース	2	0	1	6	+2
3	サンフレッチェ広島F.Cユース	1	1	1	4	±0
4	ヴィッセル神戸ユース	0	0	3	0	-4

※ 優勝はFC東京U-18。浦和レッズユースは決勝トーナメントに進出できず。

3 種

2008関東ユース(U-15)サッカーリーグ

●最終結果

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	柏レイソルU-15	7	1	3	22	+8
2	横浜F・マリノスJY	7	0	4	21	+6
3	三菱養和SC巣鴨JY	7	0	4	21	+12
4	鹿島アントラーズFCJY	6	2	5	23	±0
5	浦和レッドダイヤモンズJY	6	1	4	19	+5
6	横浜F・マリノスJY追浜	6	0	5	18	+1
7	東京ヴェルディ1989JY	5	3	3	18	+5
8	川崎フロンターレU-15	6	0	5	18	+5
9	大宮アルディージャJY	5	0	6	15	+6
10	ジェフユナイテッド市原・千葉U-15習志野	4	0	7	12	-15
11	FC東京・深川U-15	3	2	6	11	-14
12	図南SC群馬	0	1	10	1	-28

※ 優勝は柏レイソル U-15

adidas CUP 2008 第23回全日本クラブユースサッカー選手権
(U-15)大会

8月9日～17日 Jヴィレッジ

●グループD

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	浦和レッドダイヤモンズジュニアユース	2	1	0	7	+7
2	大分トリニータジュニアユース	1	1	1	4	+1
3	愛媛FCジュニアユース	1	1	1	4	-4
4	FC四日市	0	1	2	1	-4

●グループG

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	大宮アルディージャジュニアユース	2	0	1	6	+5
2	サンフレッチェ常石F.C	2	0	1	6	+1
3	アビスパ福岡U-15	1	1	1	4	±0
4	F.C. CEDAC	0	1	2	1	-6

●決勝トーナメント

ラウンド16 浦和レッズ 3 - 1 ヴィッセル神戸
大宮アルディージャ 1 - 1 FC ライオス
(6PK 7)

準々決勝 浦和レッズ 2 - 1 FC 東京むさし
準決勝 浦和レッズ 1 - 2 名古屋グランパス
※ 優勝は名古屋グランパス

第14回関東クラブユースサッカー選手権(U-15)大会

6月14日～7月13日

1 回戦	FESTA FC	0 - 2	フッチ FC
	クマガヤ FC	4 - 1	WINGS
	大宮 FC	1 - 5	KAMUI JY
	HAN FC	1 - 0	Forza '02
2 回戦	クマガヤ FC	2 - 3	前橋 FC
	浦和レッドダイヤモンズ	1 - 1	WINGS
		(4PK 2)	
	大宮アルディージャ	5 - 0	HAN FC

3 回戦 浦和レッドダイヤモンズ 2－1 東京ヴェルディ
大宮アルディージャ 1－1 横河武蔵野 FC
(3PK 1)
準々決勝 浦和レッドダイヤモンズ 2－2 前橋 FC
大宮アルディージャ 2－4 JEF市原・習志野
準決勝 浦和レッドダイヤモンズ 0－1 横浜 FC JY
※優勝は横浜 F・マリノス追浜

平成20年度第39回関東中学校サッカー大会

8月7日～10日 藤岡総合運動公園陸上競技場他

1 回戦 埼玉栄 5－0 日光・大沢
鴻巣・赤見台 2－2 笛吹・一宮
(2PK 4)
2 回戦 埼玉栄 2－1 我孫子・我孫子
準決勝 埼玉栄 1－3 蕨崎・蕨崎東
※埼玉栄は3位となり、全中大会に出場する

4 種

第32回全日本少年サッカー大会

8月3日～9日 西ヶ丘サッカー場他

●1次ラウンド グループB

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	FC浦和	5	0	0	15	+12
2	水原SS	2	2	1	8	－1
3	ベガルタ仙台	2	1	2	7	+1
4	敦賀JFC	1	2	2	5	－2
5	JFE倉敷FC	1	2	2	5	－2
6	高岡JFC	0	1	4	1	－8

●決勝トーナメント

1 回戦 FC 浦和 4－1 カティオーラ FC
準々決勝 FC 浦和 1－1 ヴェルディ
(4PK 2)
準決勝 FC 浦和 1－1 柏レイソル
(4PK 2)
決勝 FC 浦和 2－1 名古屋グランパス
(延長)



優勝したFC浦和選手達

第32回関東少年サッカー大会

8月8日～10日

●1位パート 順位トーナメント

栃木SC	1	0-2	1-1	0	大宮	2	1	1-2	あざみ野FC
江南南SS	3	0-1	0-1	0	大宮	1	0	0-0	大宮アルディージャ
FCスピリット	1	1-1	0-1	1	大宮	2	1	1-0	パディーSC
横浜F・マリノス	2	0-1	0-1	2	大宮	0	0	0-0	FC習志野

●3位パート 順位トーナメント

1 回戦 NEOS FC 0－0 フォルトゥナ SC
(5PK 6)

※大宮アルディージャジュニアは初優勝

女子

2008ブレナスなでしこリーグ1部

●最終結果

順位	チーム名	勝点	試合数	勝	分	負	得失差
1	ベレーザ	53	21	17	2	2	+51
2	INAC	45	21	14	3	4	+30
3	浦和	43	21	13	4	4	+28
4	TASAKI	34	21	11	1	9	+4
5	湯郷ベル	33	21	10	3	8	+1
6	マリーゼ	17	21	5	2	14	－19
7	新潟L	11	21	3	2	16	－30
8	伊賀FC	7	21	2	1	18	－65

※浦和レッズレディースは3位

2008ブレナスなでしこリーグ2部

●最終結果

順位	チーム名	勝点	試合数	勝	分	負	得失差
1	JEFL	41	15	13	2	0	+66
2	FC高槻	39	15	12	3	0	+49
3	AS狭山	32	16	10	2	4	+41
4	大原学園	25	16	7	4	5	±0
5	福岡AN	23	16	7	2	7	+25
6	パニーズ	13	16	4	1	11	－32
7	清水第八	11	16	2	5	9	－17
8	アサヒナ	10	16	3	1	12	－64
9	R熊本	9	16	3	0	13	－68

※ASエルフエン狭山は3位

2008年度第14回関東女子サッカーリーグ

●11月16日現在

順位	チーム名	勝点	試合数	勝	分	負	得失差
1	日本体育大学	36	13	12	0	1	+47
2	日テレ・メニーナ	25	13	8	1	4	+13
3	早稲田大学	24	13	8	0	5	+13
4	神奈川大学	23	14	7	2	5	+5
5	浦和レッズJr	18	13	5	3	5	+1
6	横須賀シーガルズ	13	13	4	1	8	－30
7	武蔵丘短期大学	9	13	2	3	8	－22
8	東京女子体育大学	4	14	0	4	10	－27

第13回関東女子ユース(U-15)サッカー選手権大会

6月7日～15日 Jヴィレッジ

●Aグループ

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	大宮FCエンジェルス	2	0	1	6	+3
2	横須賀シーガルズ	2	0	1	6	+1
3	ジェフ市原・市原	1	1	1	4	±0
4	フィオーレ武蔵野FC	0	1	2	1	－4

●Cグループ

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	SFIDA世田谷	3	0	0	9	+11
2	エルフエン狭山マリ	2	0	1	6	+6
3	KASHIMA-LSC	1	0	2	3	+3
4	関南SCフィオーレ	0	0	3	1	－20

●Dグループ

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	浦和レッズJr	3	0	0	9	+14
2	駒沢プリマヴェーラ	1	1	1	4	+1
3	フォルトナSC	1	1	1	4	－2
4	つくばFCガールズ	0	0	3	0	－13

●決勝トーナメント

大宮FCエンジェルス05	1								
FC駒沢女子プリマヴェーラ	0	3							
大和シルフィード98	1		5	2					
エルフエン狭山マリ	0								
スフィード世田谷	8								
ホワイトスターJW昭和	1		1	1					
浦和レッズジュニアユースレディース	3								
横須賀シーガルズJOY	0								

※上位4チームが本大会に出場

第6回JFA関東ガールズ・エイト(U-12)サッカー大会

8月23日、24日 ひたちなか市総合運動公園スポーツ広場

●Bグループ

順位	チーム名	勝点	得	失	差
1	川越女子ジュニア	13	25	0	+25
2	横浜ウィンズ	11	24	1	+23
3	松ノ木FC	8	6	6	±0
4	日立FC	7	4	11	-7
5	吉井レッドスパローズ	3	5	13	-8
6	KOFUガールズ	0	1	34	-33

●Cグループ

順位	チーム名	勝点	得	失	差
1	松戸FC	15	21	0	+21
2	戸南南ボンバーズ	12	20	2	+18
3	青梅新町FC	7	9	7	+2
4	上溝FC	6	9	10	-1
5	館林フェリス	4	7	21	-14
6	山中湖FC	0	0	26	-26

●Dグループ

順位	チーム名	勝点	得	失	差
1	調布コスモス	9	27	9	+18
2	千葉中央女子	9	12	5	+7
3	RJC古河	7	7	9	-2
4	和光ベレーザ	4	4	7	-3
5	前橋エコー	0	1	21	-20

●Eグループ

順位	チーム名	勝点	得	失	差
1	YSCCコスモス	12	8	0	+8
2	白岡・青莪キッカーズ	5	3	2	+1
3	千葉ボニータ	5	3	2	+1
4	前橋南CHERRYS	4	4	9	-5
5	つくばFC	1	3	8	-5

※Bグループの川越女子ジュニアは初出場で初優勝

シニア

第5回全日本女子フットサル選手権大会

9月27日、28日 宇都宮市清原体育館

東松山オールドパワーズ 1(0-1)(1-1) 3 横浜シニアサッカー

東松山オールドパワーズ 4(1-0)(3-0) 0 下都賀シニアSC

東松山オールドパワーズ 0(0-0)(0-0) 0 日川シニアス

※東松山オールドパワーズは1勝1敗1分でBブロック2位

フットサル

第37回関東四十雀サッカー大会

9月13日、14日 藤岡市総合公園陸上競技場

●1次ラウンド Dブロック

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	FUN Ladies	2	0	0	6	+9
2	dolce da donna	1	0	1	3	-3
3	FBC PUDE	0	0	2	0	-6

※優勝はFUN Ladies

全国ビーチサッカー大会 2008 関東県大会

9月6日 ひたちなか市阿字ヶ浦海岸

●予選リーグ Aブロック

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	OLE!	1	1	0	4	+3
2	WHIZKID FC	1	1	0	4	+1
3	ST UNITED	0	0	2	0	-4

※優勝はOLE!。全国大会に出場する。

大会記録 ●埼玉県選抜

2008年関東U-16トレセンリーグ

7月21日 栃木県総合運動公園サッカー場

埼玉県 1-0 栃木県

2008年関東U-15トレセンリーグ

第1節 埼玉県 4-3 山梨県

第2節 埼玉県 1-3 東京都

2008年関東U-14トレセンリーグ

第1節 埼玉県 1-0 浦和レッズ

大宮アルディージャ 1-2 群馬県

第2節 埼玉県 4-3 川崎フロンターレ

浦和レッズ 6-2 栃木県

2008年関東U-13トレセンリーグ

第1節 埼玉県 0-7 浦和レッズ

大宮アルディージャ 1-2 群馬県

第2節 埼玉県 1-4 川崎フロンターレ

浦和レッズ 7-1 栃木県

2008年関東U-12トレセン交流大会

第1節 埼玉A 5-0 栃木A

埼玉B 8-2 栃木B

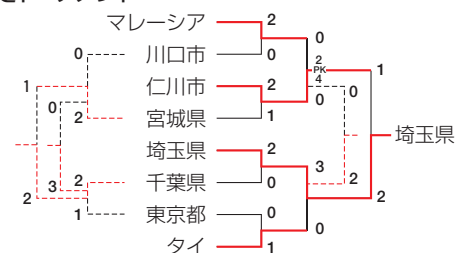
第2節 埼玉A 7-0 茨木A

埼玉B 4-0 茨木B

埼玉国際ジュニアサッカー大会 2008

7月25日～27日 埼玉スタジアム他

●優勝決定トーナメント



※埼玉県選抜は初優勝



決勝 埼玉県選抜－仁川市

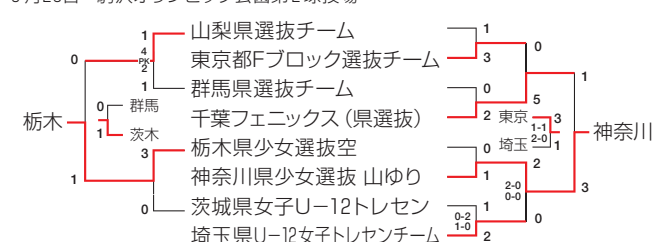
2008年第5回関東女子U-15トレセンリーグ

●10月13日現在

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	埼玉県トレセン	2	1	1	7	+5
2	千葉県トレセン	2	1	1	7	+3
3	神奈川県トレセン	2	0	0	6	+15
4	茨城県トレセン	2	0	0	6	+9
5	山梨県トレセン	2	0	2	6	+5
6	栃木県トレセン	2	0	2	6	-5
7	東京都トレセン	1	0	1	3	+7
8	群馬県トレセン	1	0	3	3	-9
9	長野県トレセン	0	0	4	0	-30

第13回首都圏少女サッカー交流大会

9月23日 駒沢オリンピック公園第2球技場



第6回関東女子U-12トレセンリーグ

●11月15日現在

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	東京都トレセン	3	0	1	9	+15
2	神奈川県トレセン	3	0	1	9	+11
3	千葉県トレセン	3	0	1	9	+3
4	埼玉県トレセン	3	0	1	9	+2
5	栃木県トレセン	2	0	2	6	-4
6	茨城県トレセン	1	0	3	3	-6
7	山梨県トレセン	1	0	3	3	-7
8	群馬県トレセン	0	0	4	0	-14

2008埼玉県U-16ストライカー・GKキャンプ報告

7月12日(土) 於: 東松山リコー研修センター

2種技術委員長 福田直史

5年目を向かえたストライカーキャンプは昨年同様U-16中心に実施した。今回はよりリアルにするためセンターバックを集めて行なった。随所にハードワークが見られ、よかったのではないだろうか。プリンスリーグや高円宮の試合ため欠席者が多く、参加者の練習頻度が上がり、猛暑になったことも加わりフィールド選手がかなりばてていた。昨年度もそうであったがU-16は、スタミナ・パワーともに足りない選手がほとんどであり、よいプレーセンスを持っているが、プレーの正確性、連続性がないところが今後の課題と言える。

FWは、もっと貪欲さが必要で、自分のスタイルを持ち、詰めの意識を身につけて、ゴールを奪うことに集中して欲しい。

CBは、フィジカルは強いが、ポジショニングが悪く、反転力が弱いため簡単に抜かれるケースが多かった。ユニフォームを掴んで奪うプレーが多いので、コースどりで身体を寄せられるようなトレーニングが必要で、今回初めて召集したが今後への必要さを感じた。

GKは、GKトレセンの成果か、元気があり声もでて、リーダーシップが取れ、積極的なプレーが展開された。コーチングを意識するあまりにポジショニングがやや悪いケースがあったがトレーニング効果は高かった。

スタッフも協力者が多く助かったが、今後プレーのできるより若い指導者が多いとリアリティーが出てさらに良くなると感じた。

PHQ ミーティング開催

8月22日に、さいたま共済会館にて「PHQ ミーティング」が開催された。真田幸明 PHQ 部長より、JFAの2005年宣言を受けての「ロードマップ」がプレゼンテーションされた。全体の議題としては「2種、3種のリーグ戦の進捗状況」について。3種では始まっているが、2種は09年度からであることが報告された。また、小林利章「こころのプロジェクト推進室」参事からは、「夢先生」の活動状況が紹介された。



レディースサッカーフェスティバルの概要

女子委員長 長瀬欣一

JFA がワールドカップ終了後の2003年から、レディースのサッカーに関して普及育成発展等を目的にワールドカップ開催地での取り組みを促進、開催した地域には補助金を支給するという事になり、埼玉でも毎年レディースサッカーフェスティバルを開催しています。6年目の今年は、2003年に続いて2度目となった埼玉スタジアムで開催されました。

今回もレディース(30歳以上)と一部の高校生チーム(技術的にまだ未熟なチーム)と埼玉シニア(67歳以上)のチームで、埼玉スタジアム第4グラウンドを2面に分けて8人制のゲームを楽しんだ。特に高校生チームは、埼玉シニアのおじいちゃんチームと対戦するのを楽しみに毎年参加しています。

ゲームは7分ハーフで行っていますが、それでも数試合を行うと疲れはたまり、終了間近の試合では動きも緩慢になってしまいました。また、応募はチームでも個人でも申し込みできるため、1チーム(8人以上)に満たないこともあり、その時はお互い多く参加しているチームから、また競技運営委員から貸し借りをし、和やかな雰囲気の中でゲームを楽しんでいました。

ちなみに、8人制の審判員は1名となっています。これは、選手に自らフェアプレー精神を持って行動してもらうための規則です。

今までにも11人制や8人制のフェスティバルを開催していますが、このようなフェスティバルは、勝敗にこだわることも無く、相手の選手の見事なプレーに共感したり感動したりで普段の試合もこんな和やかな、和気あいあいとした中で行いたいものだなーと、つくづく思いました。

【大会概要】

●2008レディースサッカーフェスティバル IN 埼玉県

11月3日(祝・月) 埼玉スタジアム第4グラウンド

参加チーム 10チーム(約100名)・戸塚ポピーズ(11)、浦和コスモス(8)、大宮別所レディース(11)、与野鈴谷レディース(7)、FC B.B(5)、和光国際高校A,B,C(32)、白岡中学校、埼玉シニア



■医事委員会より

落雷についての対応について、医事委員会より指針が出ましたので、お知らせします。ぜひ参考にして事故のないようにお願いします。

サッカーと落雷事故対策マニュアル

(財)埼玉県サッカー協会医事委員会

近年落雷が頻発し、そのための死傷者も出たりサッカーの試合が中断せざるを得ないことが続いております。裁判でも、主催者・引率監督の責任も指摘された判決も2008年9月に出ています。埼玉県サッカー協会では、日本サッカー協会に先駆けて既に1998年にマニュアルを通達しておりますが、頻発する落雷に鑑みて今回改訂版を作成致しましたのでご通知致します。

1. はじめに

雷雲(入道雲のような積乱雲や頭上に厚い黒雲が広がる場合)は、10分間ぐらいで急成長し(全寿命はおよそ60分)、直径4～10kmのものが時速10～40kmという高速で移動するので、いつ、どこに落雷が起こるか予測は困難である。遠くでかすかにでもゴロツ(雷鳴)、ピカッ(雷光)が鑑別できたら、すぐにでもグラウンドに落雷する危険もあると考えて対処しなければならない。人体そのものが導体であるから、身に金属をつけているかどうかとは関係なく高いところに落雷することが既に実験的に証明されており、屋外スポーツの場合には、広大なグラウンドの中で人間が一番高いことになるので人間が雷撃を受け、死亡事故につながる危険性も高くなる。重大性を考慮にいれば、めったにグラウンドに落雷することはないにしても、やはりスポーツはすぐに中断して安全を確保すべきである。ただ試合の開催のために多くの人手と時間を費やしてきたことと、中止した試合の再試合のことを考えると主催者としては中止するのには逡巡せざるを得ないだろう。そこで大切なことは、事前に主催者間で落雷時の対処について意志の疎通を図っておくことである。就中サッカーの場合には、レフェリーとマッチコミッショナーの理解が必要である。(日本サッカー協会通達 日サ協発006015(2006.4.11), 0700-M0009(2007.6.19)参照)

先ずレフェリーが状況を把握し試合を止めることが必要だからである。レフェリーは、落雷に対する十分な知識を有した上で迅速に試合を止める勇気をもっていなければならない。最近の落雷は従来の古典的な落雷と些か趣きを異にしているが、それでも試合を中止する必要はめったになく、多くの場合数十分程度での中断ですむことが殆どなので選手の安全のためにもすぐにゲームを止めるべきである。

2. 落雷の予想と試合の中断

上述のように雷雲は大きく、急成長し、高速で移動するので、いつ、どこに落雷するか予測することは難しいが、以下の場合が落雷予想の参考になるといわれている。

- (1) 大空に入道雲がモクモク発達する時や、頭上に厚い雲が広がるとき
- (2) 携帯ラジオの雑音が頻繁になる時(FM受信では雑音が入らないのでAM受信とする)
- (3) 天気予報、気象情報に雷の予報・雷注意報が出ている時
- (4) 携帯型雷警報器(ストライクアラート)雷の電磁波を検知(半径60km以内)
従って(1)から(3)の前提があり、遠くでかすかにでもゴロツ(雷鳴)、ピカッ(雷光)が識別できればスポーツは直ちに中止・中断して避難すべし。

3. 落雷からの避難

- (1) 安全空間への避難

コンクリート建造物、自動車等の中に避難すること。木造建築物は比較的安全空間であるが、電灯線、電話線、水道栓、ガス栓等から1m以上離れて、即ち壁から1m以上離れて部

屋の中央にしゃがんでいるのがよい。(側撃の回避)スタジアムの場合には観客席は避雷針でカバーされていて安全であるので避難する必要はないが、フィールドはカバーされないので選手・審判は直ちに避難すべし。

- (2) 屋外の危険空間に居る時
避雷針・送・配電線の架空地線の保護角内(仰角45度以上で見上げる範囲)を通して、安全な建物の中に避難する。
- (3) 高さ4m以上で概ね30m以下(あまり高いとダメ)の樹木があれば、それを仰角45度で見上げる半径内(高さ15mなら半径15mが仰角45度である)で、その樹木の幹から2m離れた所に姿勢を低くしていれば比較的安全である。木の幹に寄りかかっていると側撃を受けるので2～4m離れること。(枝先や葉先からも2～4m離れることが望ましい。)
- (4) 近くに高い木がない場合には、地面にひれ伏して、姿勢を低くして安全な時間をみはからって避難すること。テントのポールは落雷を受け易いのでテントの中は地面にひれ伏しているよりも危険である。
- (5) 避難方法
落雷から次の落雷迄は1～3分間あり、少なくとも1分間は安全である。従って落雷があったら次の1分間のうちに安全空間まで全速力で走って避難する。1分間で到着できなければ、その地点で地面にひれ伏し(匍伏前進)、次の落雷を待って又全力で走り、これを繰り返して避難する。(最近では絶対安全というわけでもないとは言われているが……)

4. スポーツの中止・中断と再開

以上のことから落雷はいつ、どこに起こるか予測できないのであるから、前述2、で予想される時にはスポーツはすぐに中断すべきである。しかし、中止に至ることは少なく、多くの場合は中断ですみ、再開することが可能である。落雷は雷雨に先行すること多いので、大雨が降ってからスポーツをやめるのではなく、雷鳴、雷光のうちに中断すべし。

- (1) 最後の雷鳴が聞こえてから30分経てば、雷雲は去ったと判断できるのでスポーツを再開してよい。(20分でも概ねOKだが30分ならまず大丈夫といえる)従来の古典的な落雷では雷雲の発生は単発的であり、本項が当てはまったが最近の、地球温暖化、ヒートアイランド現象等による不安定な大気によるものと考えられる落雷では、次から次へと雷雲が発生して飛来するので必ずしも30分間の中断で再開にこぎつけないケースも多い。従って下記(2)を参考にすべし。
- (2) ラジオや電話で雷注意報の解除を確認してからスポーツを再開すればなおよい。

5. 落雷事故時の応急処置

感電による電撃傷とは違い、雷撃は人体の浅い部分を放電し易い性質もあり(沿面電流)重大な火傷等は起こさない。落雷による死亡は大量の電流が一度に流れそのショックで呼吸や心臓が停止することによるものであるから、直ちに心肺蘇生法(人工呼吸+心臓マッサージ)を施せば助かることがある。従ってサッカーに関わる指導者・レフェリー・役員は全て心肺蘇生法の必要性を認識し、習熟していなければならない。落雷による心停止にAEDが有効かどうかまだ確認はされていないが有用性は推定されており、心臓マッサージ(胸骨圧迫)で回復しなければ、やはり即AEDを試みるべきであろう。

(参1) 落雷による死傷と屋外スポーツにおける安全対策の研究
デサントスポーツ科学 vol. 9-北川信一郎

雷から身を守るには-安全対策 Q&A 日本大気電気学会

(参2) 気象庁は従来の「雷注意報」に加えて、2010年度から危険性を4段階に分け、発生場所の予測も含め、より詳細な雷情報1時間前に提供できるように予定している。また民間会社の日本ウェザーニュースは既に「ゲリラ雷雨メール」のサービスを開始している。(043)-274-5504

インフォメーション

「JFAスポーツマネージャーズカレッジサテライト講座・SFAスポーツマネージャーズカレッジ共同講座」開催

SFAでは、関東で唯一、JFAが毎年開催している「スポーツマネージャーズカレッジ」のサテライト講座に、SFA独自のビジネス講座(公開講座)と財務講座を加えたマネジメント講座を開催する事になりました。多くの方に受講していただきますよう、よろしくお願い致します。詳細については、SFAのホームページをご参照ください。

【概要】

●受講対象

埼玉県サッカー協会の組織の運営に携わる方(35名、公開講座は180名)

原則として中長期計画(※)に従い、毎年募集選考いたします。初年度は、埼玉県サッカー協会各種連盟、市町協会、各委員会の、クラブ運営者の希望者から募集選考いたします。

●受講資格

Microsoft Word/Excel/PowerPoint 等を使いこなせること。自宅や職場に高速通信環境が整っていること(一部 E-learning を導入しています)。

●受講料

SFA公開講座：2,000円(当日受付支払い)

基本講座：40,000円(埼玉県協会事務局で納入方法は受講者確定後にご連絡いたします。)

●修了要件

SMCサテライト講座(JFA)修了要件：基本講座 session 1～8 をすべて受講すること。(修了者には認定証を発行)

SFA修了要件:原則全ての講座を受講し、卒業レポートを提出し、指導、評価を受けること。(修了者には SFAから認定証を発行)

●応募方法

2008年12月26日(金)までに、「受講申込書」に必要事項を記入し、下記までFAXにて提出して下さい。

【送付先】(財)埼玉県サッカー協会

FAX:048-834-2004 TEL: 048-834-2002

【SMC 中長期計画】

将来的にはSFAからのプロジェクト支援金等の企画、管理や各団体への配分金等についての検討にもSMC認定者に参画していただくことを考慮に入れております。また、この講座の目標としては、次の受講者数を想定しております。

- 1) 2010年度までには、埼玉県サッカー協会各種連盟、市町協会、各委員会には、SMC認定者を少なくとも2名養成する。
- 2) 2012年度までには、原則として関東リーグ以上のクラブ団体にSMC認定者1名以上を養成するとともにSFA役員には全員受講していただく。
- 3) 2018年度までには、一般クラブを対象に170人(現登録チーム約1,700チームの10%)にSMC認定者を養成する。
- 4) この講座は、2008年度以降毎年行う。

編集後記

●埼玉サッカーの礎を築いた細木志朗先生の娘さんとお孫さんを埼玉スタジアムに招待し、シティカップを観戦していただいた。会場の熱気にびっくりするとともに埼玉のサッカーの隆盛に感激していた。次の100年に向けて実りを未来に残しましょう。(高橋)
●各種別が年末年始のビッグタイトルに向かって頑張っていると思います。今年は優勝のタイトルをいくつかの種別が獲得していますが、もっと増やしてください。(坂庭)
●ある日の新聞コラムより。『人に「してあげた」ことを過大評価し「してもらった」恩義は忘れがち」……確かに、と反省。感謝の

気持ちを忘れないようにしたいと思います！(こいち)

●寒い季節は心までなんだか寂しくなる……な～んてあなた！サッカーをすれば心も体もポッカポカ☆楽しく元気に冬を楽しみましょう♪(ほうしと)

●埼玉サッカー100年の中ではとても小さな一部ですが、協会に入って早3年が過ぎました。至らない部分がまだまだ多く、自分の力不足を痛感しています。どんな事も日々勉強！ですね。(かのう)

●吐く息が白い季節になりました。サッカーの季節というのでしょうか…。週末各地でサ

FIFAフットサルワールドカップ ブラジル2008に、小菅戸 允哉(バサジィ大分)が出場

9月に開催された「FIFA フットサルワールドカップ ブラジル2008」に、さいたま市出身の小菅戸 允哉(おそど・のぶや)選手が選ばれた。残念ながら1次リーグで敗れたものの、ブラジル戦での唯一のゴールを含む、4試合4ゴールを挙げて、一躍話題を集めた。

小菅戸 允哉 バサジィ大分 ALA 背番号12
1983年6月28日生まれ



Photo by VASAGEY OITA

所属チーム

浦和市立木崎中学校→タジェレススコース(アルゼンチン)→タジェレス3軍サテライト(アルゼンチン)→ブラサ・アマドール(パナマ)→タジェレスコルドバ(アルゼンチン)→ブラサ・アマドール(パナマ)→クラブ・デポルティーボ・アラベ・ウニド(パナマ)→アヴェントゥーラ川口(県1部)&ロクFC(フットサル、県1部)→バサジィ大分

木崎中学で宮田好之氏(現、白幡中学校)に薫陶を受け、卒業後アルゼンチンに渡る。04年と05年、ブラサ・アマドールの一員としてCONCACAFチャンピオンズカップを戦う。06年に帰国し、サッカーとフットサルの両方を掛け持ちしていたところ、08年6月にFリーグのバサジィ大分に移籍し、開幕戦でデビューを果たす。この試合で2得点を挙げる活躍で注目を集め、フットサル日本代表の候補合宿に参加。一度はメンバーから漏れたものの、本大会出場を果たした。

「第2回 埼玉県第4種サッカーリーグ選手権大会」開催

後援 埼玉県教育委員会、朝日新聞さいたま総局、テレビ埼玉、FM NACK5

協賛 KDDI(株)、埼玉県信用金庫、(株)アストロ、ブーマ、三国コカ・コーラボトリング(株)

特別協力 浦和レッドダイヤモンズ、大宮アルディージャ

協力 JA グループさいたま、ゼブラ

12月14日(日) ……1、2回戦

熊谷スポーツ文化公園・妻沼葛和田グラウンド

12月21日(日) ……3、4回戦

埼玉スタジアム第2、第3グラウンド

12月23日(火・祝)

準決勝：埼玉スタジアム第2、第3グラウンド

決勝：埼玉スタジアム2002

また23日には、JFAのPHQミッション5である「エリート養成システムの確立」を受けて、「キッズ(U-10)エリートプログラム大会」を開催する。これは、日本初のU-10リーグ戦に繋げるものとして開催される。

出場予定チームは48チーム。試合は8人制。一般公式サイズの約1/4のピッチで1試合を8分とし、交代は自由。1チームは3試合行う。

サッカーが行われ、大変賑わっているようです。お陰様で事務局員もあっち!こっち!と大忙しですが、日々サッカーに触れていることを幸せに感じ、年末までもう一踏ん張りしてみます。(小豆澤)

●第2回埼玉県第4種リーグ戦も各ブロック順調に進行しているようです。次は12月23日の第4種選手権が待たれるところです。かつてデッドマール・クラマーさんは『試合こそが一番いい「監督」だ』と仰った。今年のリーグ戦、如何だったでしょうか。(栗島)